

① 近代の東葛飾

幕末及び明治維新直前の流山の支配体制は代官や旗本知行地の天領分がおおよそ65%飛地としての田中藩本多家の大名領が35%でした。この時の房総3国の所領体制につき調査した結果を下記「表」にまとめてみました。(赤字表示は後に葛飾県印旛県に包括される藩)

【近代の東葛飾】				
明治維新直前の 安房 上総 下総三国の所領体制				
国名	在所	石高	藩主	
安房	勝山	1万5千石	酒井忠美	
同	館山	1万石	稲葉正善	
同	船形	1万石	平岡道弘	
上総	久留里	3万石	黒田直養	
同	大多喜	2万石	大河内正質	
同	飯野	2万石	保科正益	
同	佐貫	1万6千石	阿部正恒	
同	鶴牧	1万石	水野忠順	
同	一宮	1万石	加納久宣	
同	請西	1万石	林忠崇	
下総	佐倉	11万石	堀田正倫	
同	関宿	4万8千石	久世廣文	
同	多古	1万石	久松勝行	
同	高岡	1万石	井上正順	
同	生実	1万石	森川俊方	
同	小見川	1万石	内田正学	
同	結城	1万8千石	水野勝任	
同	古河	8万石	土井利則	
* 上記18藩以外にも実際は天領や旗本知行地及び他藩の采地(飛び地)なども存在していた。				
赤字は流山にも関係する諸藩				

② 大学区一覧表

明治5年8月3日の太政官発令の学制発布は教育の機会均等の理念に基づき全国を大 中 小に区分けし1大学区に32中学区1中学区に210の小学区を設立する計画を立てました。流山地域は第一大学区二十六番中学区に指定されました。そこで最大のブロックである大学区の区割りにつき調査した結果が以下の表です。明治5年の末には廃藩置県により三府七十二県が誕生しました。下記「表」に表示されています。

明治5年8月頒布の学制施行による大学区一覧表						
第一大学区	東京府	神奈川県	埼玉県	入間県	木更津県	
	足柄県	印旛県	新治県	茨城県	群馬県	
	栃木県	宇都宮県	山梨県	静岡県		
第二大学区	愛知県	額田県	浜松県	犬上県	岐阜県	
	三重県	わたらい 度会県				
第三大学区	石川県	七尾県	新川県	あすわ 足羽県	敦賀県	
	筑摩県					
第四大学区	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	堺県	
	和歌山県	飾磨県	豊岡県	高知県	みょうとう 名東県	
	香川県	岡山県	滋賀県			
第五大学区	広島県	鳥取県	島根県	北条県	小田県	
	石鉄県	神山県	山口県	浜田県		
第六大学区	長崎県	佐賀県	八代県	白河県	美々津県	
	都城県	鹿児島県	小倉県	大分県	福岡県	
	みずま 三瀨県					
第七大学区	新潟県	柏崎県	おいたま 置賜県	酒田県	若松県	
	長野県	相川県				
第八大学区	青森県	福島県	いわさき 磐前県	水沢県	岩手県	
	秋田県	山形県	宮城県			
	青字は本部が置かれた府県					
	翌年明治6年には八大学区が改編され七大学区となり全国で239中学校 42、451小学校が制定された。（詳細区割り不明）					
	各大学区には明治10年の東京大学（明治19年に東京帝国大学に改称） を皮切りに後の国立一期校の前身となる官立大学が設置された。					